



**取扱説明書** USB/XLRマイクロホン



audio-technica

### はじめに

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にクイックスタートガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。

本製品はUSB出力とXLR出力の両方を備えており、録音用ソフトウェアでライブ演奏やデジタル化された音楽をはじめ、さ まざまな演奏音源の保存ができるように設計されています。

自宅スタジオや野外での録音、ポッドキャスティング、ナレーション、ステージ上での使用に最適な、高音質な録音とクリアな サウンドを実現します。単一指向性を持つため横方向や後方からの音を拾いにくく、不要な音を効果的に抑えます。

本製品には音量調整付きのヘッドホン出力端子が内蔵されているため、マイクロホンの音を直接モニターできます。指向 特性によって、卓越したハウリングマージンが得られるとともに、24bit、192kHzのサンプリング周波数を持つA/Dコン バーターによって、クリアではっきりとした音を再現できます。

### 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐ ために下記の内容を必ずお守りください。



- 強い衝撃を与えないでください。
- 分解、改造、修理を行わないでください。
- 濡れた手で触れないでください。感電やけがの原因になります。

▲ 注意 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

- 直射日光の当たる場所、暖房装置の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- ケーブルを持ってマイクロホン本体を振り回したり、引っ張ったりしないでください。断線や事故の原因になります。
- ケーブルはマイクスタンドなどに巻きつけたり、挟んだりしないでください。
- 転倒や落下により、けがや故障の恐れがあります。安定した場所に設置してください。

## 使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 接続の際は、付属のケーブルを使用してください。
- ケーブルは必ずコネクター部分を持って抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると事故や断線の原因になります。
- ケーブルの損傷を防ぐため、ねじれないように注意し、強い力を入れずに巻いてください。
- コネクターの根元部分ではケーブルを巻かないでください。断線する恐れがあります。
- USBハブおよびUSB延長ケーブルは使用しないでください。
- ケーブルをマイクロホン本体と接続する機器に差し込むときは、接続先の形状を確認のうえ、真っすぐに差し込んでください。コネクターを斜めに差し込もうとすると故障の原因になります。
- 使用しないときは、本製品からケーブルを取り外してください。
- 本製品のウインドスクリーン内部(メッシュ部分)に異物が入らないようにしてください。性能が低下する場合があります。
- •本製品を使用しているときはUSB端子またはXLR端子に触れないでください。ノイズが発生する原因になります。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録りを行い、正常に録音されていることをご確認ください。
- すべてのパソコンでの動作保証をするものではありません。
- 自作パソコンおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境では動作保証できません。
- パソコンから音声出力した場合、音声が遅れることがあります。
- 本製品を接続した機器にインストールされたソフトおよびデータなどは、補償いたしかねますのでご了承ください。

### 各部の名称と機能



#### 1 マイクロホン本体

#### 2 インジケーター

USBから電力が供給されていると、青色に点灯します。

#### 3 トークスイッチ

本製品を使用するときはON、使用しないときは OFFにスライドします。

- USBケーブル (2.0m、USB Type-A - USB Type-C™)
- USBケーブル (2.0m、USB Type-C - USB Type-C)
- USB端子(USB Type-C)
   付属のUSBケーブルを接続します。

- マッドホンボリュームコントロール
   ヘッドホンの音量を調整します。付属のUSBケーブルを接続しているときのみ使用します。
   ヘッドホン出力端子(φ3.5mmステレオミニ)
   ヘッドホンた接続します、付属のUSBケーブルを接
  - ヘッドホンを接続します。付属のUSBケーブルを接 続しているときのみ使用します。
- XLR端子(3ピンXLR-Mタイプ) 付属のマイクロホンケーブルを接続します。
- マイクロホンケーブル (3.0m、3ピンXLR-Fタイプ - 3ピンXLR-Mタイ ブ)
- 1 マイクホルダー
- 12 デスクスタンド

### 本製品の設置について

本製品を最適な環境でご使用いただくためには、音源がマイクロホンの正面に配置されるように設置してください。ナレーションなどで使用する場合は、話し手/歌い手の正面に設置してください。アコースティックギターやドラム、ピアノなどの楽器の音源を録音する場合も同様です。設置場所をいろいろと試し、使用する環境で最適な音声が録音できるように確認してからご使用ください。

#### 付属のマイクホルダーとデスクスタンドを使用して設置する

マイクホルダーとデスクスタンドを使用して、本製品を卓上などに置いて使用できます。

- 1. マイクホルダーをデスクスタンドのねじ部分に回して取り付けます。
- 2. デスクスタンドの3本の脚部をしっかり固定されるまで広げて、机などの平面に置きます。
- 3. トークスイッチが上になるように、本製品をマイクホルダーにスライドさせて差し込みます。
- 4. 市販のドライバーを使用し、マイクホルダーのねじを緩めて角度を調整し、ねじを締めます。

### 接続のしかた

本製品はUSBケーブルを使用して、パソコンに接続して使用する方法と、マイクロホンケーブルをマイク入力を有する機器(ス ピーカー、音響システム、ミキサー、アンプ、録音機器など)に接続して使用する2通りの方法があります。ご使用の用途に合 わせて使い分けてください。

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続する機器のUSB端子、マイク入力端子の仕様をご確認ください。

### 付属のUSBケーブルを使用する

- 1. USBケーブル(USB Type-C側)を本製品の底部にあるUSB端子に接続します。
- USBケーブル(USB Type-A/USB Type-C側)をパソコンに接続します。
  - Windowsを使用している場合は、「パソコンの設定(Windows 10)」(p.6)、または「パソコンの設定 (Windows 8.1)」(p.12)を参照し、設定を行ってください。
  - Macを使用している場合は、「パソコンの設定(Mac OS X以降)」(p.17)を参照し、設定を行ってください。



### 接続のしかた

### 付属のマイクロホンケーブルを使用する

- 1. マイクロホンケーブル(XLR-F側)を本製品の底部にあるXLR端子に接続します。
- 2. マイクロホンケーブル(XLR-M側)をマイク入力を有する機器(スピーカー、音響システム、ミキサー、アンプ、録音機 器など)に接続します。
  - あらかじめ接続する機器の電源がOFFになっていることを確認してください。
  - •ファントム電源の供給されたコネクターに接続しないでください。



録音機器など

### パソコンの設定(Windows 10)

- 1. 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2. 本製品のインジケーターが点灯していることを確認します。
  - USBから電力が供給されていると、青色に点灯します。
  - •パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。
  - 画面右下に、新たなハードウェアが見つかったことを示すメッセージ、またはドライバーソフトウェアのインストール を知らせる内容が表示されます。
- 3. 「スタートメニュー」をクリックし、「設定」を選択します。
- 4. 「システム」を選択します。

			Window	s の設	定		
			設定の検索		Q		
	<b>システム</b> ディスプレイ、サウンド、通知、電源		デバイス Bluetooth、プリンター、マウス		電話 Android, iPhone のリンク	⊕	<b>ネットワークとインターネット</b> Wi-Fi、機内モード、VPN
ø	個人用設定 背景、ロック面面、色	E	<b>アブリ</b> アンインストール、玩定信、オブション の機能	8	<b>アカウント</b> アカウント、メール、同期、磁場、他 のユーザー	₽	時刻と言語 音声認識、地域、日付
8	<b>ゲーム</b> ゲーム パー、キャプチャ、ブロードキャス ト、ゲーム モード	Ģ	<b>簡単操作</b> ナレーター、拡大線、ハイコントラスト	Q	検索 マイファイル、アクセス許可の検索	0	Cortana Cortana の言語、アクセス許可、通 知
A	<b>プライパシー</b> 場所、カメラ、マイク	C	更新とセキュリティ Windows Update、回復、バック アップ				

5. 「サウンド」を選択します。

← 設定		- 🗆 ×
ώ #−h	ディスプレイ	
設定の検索	A 色	睡眠に記慮する
9276	夜間モード	夜間モードでは、夜間に眠りに付きやすくす る暖色系の色を表示できます。この機能を
	*7	セットアップタットには、「夜间モート」の設定を 選択します。
D 712761	夜間モードの設定	
40 サワンド		▲ ヘルプを表示
「通知とアクジョン」	Windows HD Color	フィードバックの送信
	上で選択したディスプレイに、HDR や WCG のビデオ、ゲーム、アプリの面像をより明 るく、より鮮わかに来示できます。	
② 集中モード	Windows HD Color 設定	
① 電源とスリーブ		
- 1245	拡大縮小とレイアウト	
	テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する	
ロタ タブレットモード	100%(推奨) ~	
目: マルチタスク	表示スケールの詳細設定	
日 この PC へのプロジェクション	ディスプレイの解像度	
	1680×1050 (捕樊) ~	
※ 共有エクスペリエンス	画面の向き	
色 クリップポード	模 ~	
メ リモート デスクトップ	マルチ ディスプレイ	

- 6. 「出力」および「入力」で、本製品が選択されていることを確認します。
  - 出力デバイスとして本製品以外のデバイスを使用する場合は、「出力デバイスを選択してください」から選択してください。
  - 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「マイクロホンのプライバシー設定(Windows 10)」 (p.7)を参照し、設定を行ってください。

← BZ		- 0	×
۵ m-L	サウンド		
設定の検索	◎ 出力	関連設定 Bluetoath とその他のデバイス	
システム	※中デバブナを選約1 アノビカ1 ヘッドカン (ATR2100x-USB Microphone) ∨	サウンド コントロール パネル	
712761	アプリによっては、ここで選択したものとは異なるサウンドデバイスを使用するように設 定されている場合があります。サウンドの営業はプロングアプリの登録とデバイスを	マイクのプライバシー設定	
40 サワンド	カスタマイズします。 デバイスのプロパティ	NUTTING TO A TABLE	
通知とアクション カ モッエービ	マスター音量	ヘルプを表示	
() 電源とスリーブ	40 100 ▲ トラブルシューティング		
記憶域	サウンド デバイスを管理する		
ロョ タブレットモード	入力		
首 マルチタスク	入力デバイスを理想してくだね()		
合P この PC へのプロジェクション	マイク (ATR2100x-USB Microphone) マロレトーアド・ファンジャロートキャント 開かえせのいど ダバノフキ体用オストント的		
X 共有エクスペリエンス	アンパムスにくことと思いないこののには来ななアンパーアパイスを次行すなるプレス 定されている場合があります。サウンドの評細オプションでアプリの音量とデバイスを カスタマイズします。		
命 クリップポード	デバイスのプロパティ		
ジ リモート デスクトップ	710072F		

### マイクロホンのプライバシー設定(Windows 10)

市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、マイクロホンのプライバシー設定を確認してください。

1. 「サウンド」ウインドウで、「マイクのプライバシー設定」を選択します。

← Bž			×
ώ π−L	サウンド		
設定の検索の	出力	関連設定 Bluetooth とその他のデバイス	
927L	出力デバイスを選択してください ヘッドホン (ATR2100x-USB Microphone) ~	サウンド コントロール パネル	
<ul> <li>ディスプレイ</li> <li>40 サワンド</li> </ul>	アプリによっては、ここで選択したものとは異なるサウンドデバイスを使用するように設 定されている場合があります。サウンドの評紙オプションでアプリの音量とデバイスを カスタマイズします。	マイクのプライパシー設定 簡単操作のオーディオ設定	
□ 通知とアクション	デバイスのプロパティ マスター音量	▲ へルブを表示	
	40) 100	▲ 71-17(770) <u>S</u> IA	
<ul> <li>         ・ 電源を入りーク         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	▲ トラブルシューティング サウンド デバイスを管理する		
G タブレットモード	入力		
単i マルチタスク	入力デバイスを選択してください		
印 この PC へのプロジェクション	マイク (ATR2100x-USB Microphone) 〜		
※ 共有エクスペリエンス	アプリによっては、ここで選択したものとは異なるサウンドデバイスを使用するように設 定されている場合があります。サウンドの詳細オブションでアプリの音量とデバイスを カスタマイズします。		
商 クリップボード	デバイスのプロパティ		
> リモート デスクトップ	7170777 D		

2. 「アプリがマイクにアクセスできるようにする」が「オン」になっていることを確認します。



- 3. 「マイクにアクセスできるMicrosoft Storeアプリを選ぶ」で、使用する録音用ソフトウェアが「オン」になっている ことを確認します。
  - 「オン」になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの設定を「オン」に変更してください。
- 4. 「デスクトップ アプリがマイクにアクセスできるようにする」が「オン」になっていることを確認します。
  - この設定を「オン」にすることで、録音用ソフトウェアが本製品にアクセスできるようになります。



### マイクロホンのプロパティの設定(Windows 10)

マイクロホンの音声入力レベルやサンプルレートを変更する場合は、下記の設定を行います。

1. 「サウンド」ウインドウで、「サウンドコントロールパネル」を選択します。

< 92			×
۵ ۸-۵	サウンド		
設定の検索の	] 出力	関連設定 Bluetooth とその他のデバイス	
システム	出力デバイスを選択してください	#026 7260-11 /f 211	
	ヘッド市ン (ATR2100x-USB Microphone) >		
712701	アプリによっては、ここで選択したものとは異なるサウンドデバイスを使用するように設	マイクのノライバシー設定	
40 サウンド	定されている場合があります。サウンドの詳細オブションでアプリの音量とデバイスを カスタマイズします。	簡単操作のオーディオ設定	
	デバイスのプロパティ	0.4170+=	
C 200277747	マスター音量		
♪ 集中モード	¢0) 100	<ul> <li>M 100900488</li> </ul>	
() 電源とスリーブ	▲ トラブルシューティング		
- 記憶成	サウンド デバイスを管理する		
13 タブレットモード	入力		
目1 マルチタスク	入力デバイスを選択してください		
回 この PC へのプロジェクション	マイク (ATR2100x-USB Microphone) 〜		
X 共有エクスペリエンス	アプリによっては、ここで選択したものとは異なるサウンド デバイスを使用するように設 定されている場合があります。サウンドの詳細オブションでアプリの容量とデバイスを カスタマイズします。		
節 クリップボード	デバイスのプロパティ		
> リモート デスクトップ	712072F		

- 2. 「再生」タブで、本製品が選択されていることを確認します。
  - •本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

) ี
再生 録音 サウンド 通信
下の再生デバイスを選択してその設定を変更してください:
<b>ヘッドホン</b> ATR2100x-USB Microphone 既定のデバイス
the same the second sec
福氏(C) 敗足値に設定(S) ▼ 20八子(P)
OK キャンセル 適用(A)

3. 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクのプロパティ」ウインドウを開きます。

- 4. 「レベル」タブを選択して、マイクロホンのスピーカーアイコンがONになっていることを確認し、「OK」をクリックしま す。
  - ONになっていない場合は、スピーカーアイコンをクリックし、ONにします。

	×
全般 レベル phancements 詳細 立体音響	
ヘッドホッ- 46 412 パランス(数)	
₹12 50 (0) /(5)/2())	-
OK         キャンセル         適用(点)	)

- 5. 「録音」タブで、本製品が選択されていることを確認します。
  - •本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

7	9 サウンド 馬生 録音 ウンド 通信 次のオーチイオ録音デバイフトー川ニカアいます・	×
	マイク ATR21004-USB Microphone 見定のデバイス	
	構成(C) 研定値に設定(S) ア プロパティ(P) OK キャンセル 適用(A)	

6. 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクのプロパティ」ウインドウを開きます。

- 7. 「レベル」タブを選択して、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。
  - •録音を開始後、マイクロホンの音声入力レベルを再調整するには、このウインドウから調整します。
  - ここでの設定は「サウンド」ウインドウの「マスター音量」とは異なります。

全般 聴く レベル 道 マイク 50 (1)
50
OV まい/ガル 演用/A1

- 8. 「詳細」タブを選択して、「既定の形式」からサンプルレートとビット数を選択し、「OK」をクリックします。
  - 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で 録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
  - 映像のナレーションや映像とともに使われる音楽を録音する場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
  - 録音用ソフトウェア側でマイクロホンをコントロールする場合は、「排他モード」で「排他モードのアプリケーション を優先する」にチェックを付けてください。録音用ソフトウェアの設定に基づいたサンプルレートが設定されます。

จากลาย สาย สาย สาย สาย สาย สาย สาย สาย สาย ส	×
全般 聴く レベル 詳細	
既定の形式	
共有モードで使用されるサンブルレートとビットの深さを選択します。	
2 チャネル、24 ビット、44100 Hz (スタジオの音質) v	
2 チャネル、16 ビット、44100 Hz (CD の音質) 2 チャネル、16 ビット、44100 Hz (D)の音質)	
2 チャネル、16 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)	
2 チャネル、16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	
2 チャネル、24 ビット、44100 H2 (スタシオの音質) 2 チャネル、24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質)	
2 チャネル、24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)	
2 チャネル、24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	
既定値に戻す( <u>D</u> )	
OK キャンセル 適用(A)	
	_

9. 「使用中のデバイス」についてのメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



### パソコンの設定(Windows 8.1)

- 1. 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2. 本製品のインジケーターが点灯していることを確認します。
  - USBから電力が供給されていると、青色に点灯します。
  - •パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。
  - 画面右下に、新たなハードウェアが見つかったことを示すメッセージ、またはドライバーソフトウェアのインストール を知らせる内容が表示されます。
- 3. 「スタートメニュー」を右クリックし、「コントロール パネル」を選択します。
- 4. 「サウンド」を選択します。

99	すべてのコントロール パネル	1項目 -	□ ×
(수 종 - 사 📑 > 그가ㅁ-ル パネル	▶ すべてのコントロール パネル項目 →	✓ C コントロール パネルの検索	,
コンピューターの設定を調整します		表示方法: 小さいアイコン マ	
🏘 BitLocker ドライブ暗号化	🗲 Flash Player (32 ビット)	Ø Mail (Microsoft Outlook 2013) (3	
NVIDIA nView Desktop Manager	🛃 NVIDIA コントロール パネル	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続	
🧊 Windows 8.1 への機能の追加	😲 Windows Defender	Windows Update	
🔗 Windows ファイアウォール	🏲 アクション センター	🔂 インターネット オプション	
A インデックスのオプション	二 キーポード	🕒 コンピューターの簡単操作センター	
💐 サウンド	👰 システム	🗾 タスク バーとナビゲーション	
■ ディスプレイ 🚽 デバイス マネージャー		📾 デバイスとプリンター	
■ トラブルシューティング	壨 ネットワークと共有センター	💀 ファイル履歴	
🔓 フォルダー オプション	🚺 フォント	💽 プログラムと機能	
🜏 ホームグループ	P 702	🎎 ユーザー アカウント	
🌆 ワーク フォルダー	■ 位置情報の設定	音声認識	
₽ 回復	🔁 管理ツール	■の 既定のプログラム	
昌 記憶域	🕪 言語	🧧 個人設定	
■ 資格情報マネージャー	📰 自動再生	💀 色の管理	
参地域   通知領域アイコン			
□□ 電話とモデム	📵 同期センター	🔐 日付と時刻	

- 5. 「再生」タブで、本製品が選択されていることを確認します。
  - •本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。
  - ・音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「マイクロホンのプライバシー設定(Windows 8.1)」 (p.14)を参照し、設定を行ってください。

0	サウンド ×
再生	暗 サウンド 通信
下の再生	ミデバイスを選択してその設定を変更してください:
	ヘッドオン 2- ATR2100x-USB Microphone ② 見走のデバイス
	AC-77 2- High Definition Audio デバイス 準備売了
構成	東走徳に設定(5)  ▼ プロパティ(2)
	OK キャンセル 適用(A)

- 6. 「録音」タブで、本製品が選択されていることを確認します。
  - •本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

0	サウンド
再生 翁	927 通信
次のオーデ	「イオ録音デバイスがインストールされています:
	マイク 2- ATR2100x-USB Microphone 民走のデバイス
itter	
備成	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	OK <b>キャンセル</b> 適用(A)

#### マイクロホンのプライバシー設定(Windows 8.1)

市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、マイクロホンのプライバシー設定を確認してください。

1. 「スタートメニュー」をクリックし、「PC設定」を選択します。



- 2. 「プライバシー」を選択します。
- 3. 「マイク」を選択します。
- 4. 「アプリで自分のマイクを使うことを許可する」が「オン」になっていることを確認します。



- 「次のアプリでマイクを使うことを許可する」で、使用する録音用ソフトウェアが「オン」になっていることを確認します。
  - 「オン」になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの設定を「オン」に変更してください。

#### マイクロホンのプロパティの設定(Windows 8.1)

マイクロホンの音声入力レベルやサンプルレートを変更する場合は、下記の設定を行います。

- 1. 「コントロール パネル」で、「サウンド」を選択します。
- 2. 「再生」タブを選択します。
- 3. 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクのプロパティ」ウインドウを開きます。
- 4. 「レベル」タブを選択して、マイクロホンのスピーカーアイコンがONになっていることを確認し、「OK」をクリックしま す。
  - ONになっていない場合は、スピーカーアイコンをクリックし、ONにします。

6	ヘッドホンのプロパティ	×
全般レベル	の明瞭化 詳細	_
ヘッドホン	46 (1) /(5>ス(E)	
715	50 (i) /(5>ス( <u>B</u> )	
	OK         キャンセル         適用(	<u>A)</u>

- 5. 「録音」タブを選択します。
- 6. 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクのプロパティ」ウインドウを開きます。

- 7. 「レベル」タブを選択して、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。
  - •録音を開始後、マイクロホンの音声入力レベルを再調整するには、このウインドウから調整します。

マイクのプロパティ	×
50	
OK         キャンセル         適用	A)
	マイクのプロパティ レベル 通 うり の のK キャンセル 道用

- 8. 「詳細」タブを選択して、「既定の形式」からサンプルレートとビット数を選択し、「OK」をクリックします。
  - 本製品は最大192kHzまでのサンブルレートを選択できます。高いサンブルレートを選択することにより高品質で 録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
  - ・映像のナレーションや映像とともに使われる音楽を録音する場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
  - 録音用ソフトウェア側でマイクロホンをコントロールする場合は、「排他モード」で「排他モードのアプリケーション を優先する」にチェックを付けてください。録音用ソフトウェアの設定に基づいたサンプルレートが設定されます。

4	マイクのプロパティ	×
全般	聴くレバル	
既定	の形式	
共有	ヨモードで使用されるサンプル レートとビットの深さを選択します。	
		1
2 ;	チャネル、16ビット、44100 Hz (CD の音質) V	L
23	FF不ル、16 ビット、44100 HZ (CD の音質) FFFネル、16 ビット、48000 Hz (DVD の音質)	L
2 -	チャネル、16 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)	L
2 5	チャネル、16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	L
2 5	FVネル、24 EVF、49100 HZ (スタジオの音質) FVネル、24 EvF、48000 Hz (スタジオの音質)	L
2 5	チャネル、24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)	L
2 ;	Fヤネル、24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	J.
R	R定値に戻す( <u>D</u> )	
	UK キャンセル 週用(A)	

### パソコンの設定(Mac OS X以降)

- 1. 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2. 本製品のインジケーターが点灯していることを確認します。
  - USBから電力が供給されていると、青色に点灯します。
  - •パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。
- 3. Appleアイコンから「システム環境設定」を選択します。
- 4. 「サウンド」を選択します。



5. 「入力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

	サウンドエフェクト 出力 入力		
サウンドを入力する装置を選択:			
名前	種類		
ATR2100x-USB Microphone	USB		
選択した装置の設定:			
選択した装置の設定: 入力音量:	• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>Q</b>	
選択した装置の設定: 入力音量: 入力しベル:	QI	<b>Q</b> [	
選択した装置の設定: 入力音量: 入力と気に		<b>9</b>	

- 6. 「入力音量」で、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。
  - マイクロホンに話しかけると「入力レベル」の目盛りが移動するので、その目盛りを見ながら入力音量を調整できます。
  - 「主音量」では、パソコンのスピーカーやヘッドホンジャックへの音量を調整します。マイクロホンの音声入力レベルの調整とは異なります。

	サウンド	Q換索
	サウンドエフェクト 出力 入	<i>b</i>
サウンドを入力する装置を選歩	t:	
名前	權額	
内蔵マイク	内蔵	
ATR2100x-USB Microphor	use USB	
選択した装置の設定:		
選択した装置の設定: 入力音	#: •	- •
選択した装置の設定: 入力音 入力レベ	₩: Ų[	- 91
選択した装置の設定: 入力音 入力レベ	<b>1</b> : <b>1</b>	<b>Q</b>
選択した装置の設定: 入力音 入力レベ 主音		- <b>(</b> )) - ##

- 7. 「出力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。
  - サウンドを出力する装置として本製品以外の装置を使用する場合は、「サウンドを出力する装置の選択」から選択してください。
  - •「バランス」で左右の音量のバランスを設定できます。
  - •「主音量」では、パソコンからの再生レベルを調整します。
  - 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「セキュリティとプライバシー設定(Mac OS X以降)」 (p.19)を参照し、設定を行ってください。

*	ウンドエフェクト 出力 入力	
サウンドを出力する装置を選択:		
名前	種類	
ATR2100x-USB Microphone	USB	
選択した装置の設定:		
パランス:		
	左 右	
		?

#### セキュリティとプライバシー設定(Mac OS X以降)

macOS Mojaveで市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、セキュリティとプライバシー設定を確認してください。

- macOS Catalinaでは、Apple純正のソフトウェア以外の使用が制限されます。市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、正式にサポートされているソフトウェアをご使用ください。
- 1. 「システム環境設定」ウインドウで、「セキュリティとプライバシー」を選択します。



2. 「プライバシー」タブで、「マイク」を選択します。

一般 File	eVault ファイアウォール フライパシー
✓ 位置情報サービス	✓ 位置情報サービスを有効にする 下のアプリケーションをトガサービスにの要素等の利用を整定
連絡先	「 ( Siriと音声入力
売 カレンダー	_ <u>₩</u>
リマインダー	<ul> <li>システムサービス</li> <li>詳細… イ</li> </ul>
写真	
<u>م</u> אל א	アプリケーションプ級主243時以内に台灣情報が原用されたことを
इनक	7 #LTWET.
アクセシビリティ	
フルディスクアクセス	位置情報サービスとプライパシーについて

- 3. 使用する録音用ソフトウェアが有効になっていることを確認します。
  - 有効になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの横にあるチェックボックスにチェックを付けてください。
  - 「セキュリティとプライバシー」の設定を変更するには、画面左下のカギのロックを解除する必要があります。カギを クリックするとロックの解除についての画面が表示されるので、ユーザ名とパスワードを入力し「ロックを解除」をク リックしてください。設定を変更した後はロックを戻してください。

#### オーディオ装置の設定(Mac OS X以降)

マイクロホンのサンプルレートや左右の入力信号のレベルを変更する場合は、下記の設定を行います。

- 1. 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「AudioMIDI設定」を開きます。
- 2. 「オーディオ装置」で本製品を選択して、「入力」タブの「フォーマット」からサンプルレートとビット数を選択します。
  - •本製品は2種類表示されますが、「入力2/出力0」と表示されている方を選択してください。
  - 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
  - 映像のナレーションや映像とともに使われる音楽を録音する場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
  - サンプルレートは録音用ソフトウェアで設定した値と一致させてください。ノイズが発生する場合があります。

	•	オーラ	ディオ装置			
	内蔵マイク 入力2/出力0 内蔵出力 3 th 0 (デオ2)	ATR2100x- クロックのソ	USB Microphone 1 ース: デフォルト	,		?
Ŷ	ATR2100x-USB Microphone 1 入力2/出力0	y-	(チャンネル ビット数 フォーマット レート 44.5 kHz			
Y	ATR21007-000 microphone z 入力0/出力2 区中	フォーマッ	✓ 2 ch 16ビット整数			
		チャンネルの音量	2 Ch 24E 9 下盤数 48.0 kHz	dB	消音	Thru
		マスタースト	2 ch 16ビット整数 2 ch 24ビット整数			
		Front Left	96.0 kHz	8.5		
		Front Right	2 ch 18ビット整数 2 ch 24ビット整数 192.0 kHz 2 ch 18ビット整数 2 ch 24ビット整数	8.5		
			192.0 kHz 2 ch 16ビット振致 2 ch 24ビット振致			

3. 「マスターストリーム」で、左右の入力信号のレベルを調整します。

• 左からの入力信号のレベルと右からの入力信号のレベルを個別に調整できます。

			オーデー	ィオ装置					
<ul> <li>内蔵:</li> <li>入力2</li> <li>入方2</li> <li>入方2</li> <li>入方2</li> <li>入方2</li> </ul>	マイク (/出力0 出力 (/出力2		ATR2100x-U クロックのソー	SB Microphone ス: デフォルト	1				?
ATR 入力2	2100x-USB Microphone 1 / 出力0		ソース:	デフォルト	100 1000				
ATR: 入力0	2100x-USB Microphone 2 1/出力2	<b>•</b>	フォーマット:	2 ch 16ピット	整数 44.1 kHz ᅌ				
			チャンネルの音量			10	dB	消音	Thru
			ママスターストリーム	4					
			マスター			_		1	
			Front Left		0	0.57	8.5	<b>1</b> 0	
			Front Right -		0	0.57	8.5		- 51

#### マイクロホンを使用する

- 1. パソコンのサウンド設定で本製品が設定されていることを確認します。
- 2. 本製品のトークスイッチをONにします。
  - 使い終えたら、トークスイッチをOFFにしてください。

#### 録音用ソフトウェアを使用する

本製品に録音用ソフトウェアは付属していません。本製品を使用して録音をする場合は、市販の録音用ソフトウェアをご使 用ください。音声の入出力設定など録音用ソフトウェアで設定が必要になる場合があります。詳しくは録音用ソフトウェアの 取扱説明書を参照してください。

### 音声入力レベルを調整する

最適な性能を発揮させるために、本製品の音声入力レベルを適切に調整することが必要です。パソコンに過剰な負荷がか からない範囲で、本製品の音声入力レベルをできる限り高くしてご使用ください。音声が歪んだり、ご使用の録音用ソフト ウェアが常にピークなレベルであることが表示されたりする場合は、コントロールパネル(macOSの場合、システム環境設 定)の設定、または使用する録音用ソフトウェアで本製品の音量を小さくしてください。

本製品の音声入力レベルが不十分であると感じられた場合、コントロールパネル(macOSの場合、システム環境設定)の設 定、またはご使用の録音用ソフトウェアで、本製品の音声入力レベルを大きくしてください。その後は、音源の音量が大きく 変化しない限り、本製品の音量調整は必要ありません。

#### ヘッドホンを取り付けて使用する

ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続して録音をモニターできます。また、パソコンからの音源を聴きながら、本製品へ入 力中の音声を直接モニターできます。

- 1. ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。
- 2. マイクロホンのトークスイッチをONにします。
  - •本製品に向かって話しかけると、自分の声がヘッドホンから聞こえてきます。
- 3. ヘッドホンボリュームコントロールを回して音量を調整します。
  - ヘッドホンボリュームコントロールは、ヘッドホン出力の音量調整のみ行います。本製品の音声入力レベルおよびモニター出力レベルの調整はできません。
  - USBから電力が供給されていると、インジケーターが青色に点灯します。トークスイッチの動作は関係ありません。

# 使いかた(マイクロホンケーブル接続の場合)

ライブ演奏時などの場合、マイクロホンケーブルをミキサーなどの機器に接続して使用できます。

- 1. 接続機器の電源をONにします。
- 2. マイクロホンのトークスイッチをONにします。
- 3. ミキサーなどの機器で、マイクロホンのレベルを設定します。
  - ミキサーなどの機器の取扱説明書を参照してください。
  - 使い終えたら、トークスイッチをOFFにしてください。
  - インジケーターはUSBから電力が供給されているときのみ点灯します。マイクロホンケーブルで接続しているとき は点灯しません。

# お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 乾いた布で本製品の汚れを拭いてください。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
  - 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

### 外形寸法図



(単位: mm)

# テクニカルデータ

必要システム仕様	USB 1.0または2.0、64MB RAM以上
対応OS	Windows 8.1以降、Mac OS X以降 (最新の情報は、製品ホームページをご確認ください。)
型式	ダイナミック型
指向特性	単一指向性
周波数特性	50~15,000Hz
	USB電源(DC5V)
ビット数	最大24bit
対応サンプリング周波数	44.1kHz/48kHz/96kHz/192kHz
コントロール	トークスイッチ(USBケーブル/マイクロホンケーブル接続時) ヘッドホンボリュームコントロール(USBケーブル接続時のみ)
外形寸法	¢51mm×183mm
質量	約268g
 出力コネクター	USB Type-C/3ピンXLR-Mタイプ
ヘッドホン出力	10mW at 16Ω
ヘッドホン出力端子	¢3.5mmステレオミニジャック(USBケーブル接続時のみ)
付属品	<ul> <li>マイクホルダー(ねじ径5/8インチ、ピッチ27山)</li> <li>デスクスタンド(ねじ径5/8インチ、ピッチ27山)</li> <li>USBケーブル(2.0m、USB Type-C - USB Type-C)</li> <li>USBケーブル(2.0m、USB Type-A - USB Type-C)</li> <li>マイクロホンケーブル(3.0m、3ピンXLR-Fタイプ - 3ピンXLR-Mタイプ)</li> </ul>

改良などのため予告なく変更することがあります。

• USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

# テクニカルデータ

### 指向特性



凡例	
200 Hz	
5 kHz	
8 kHz	

### 周波数特性

